

第10回 札幌市河川環境推進会議

日時：平成31年1月8日（火）9:00～12:00

場所：下水道河川局庁舎1階 大会議室B

会議次第

1 開会

2 議事

- 1) 昨年度頂いたご意見に基づく対応状況について
- 2) 今年度実施した事業について
- 3) 実施事業を踏まえた今後の環境整備の考え方について
- 4) 各委員より、第三期の振り返りと第四期に向けての提言

3 まとめ

4 閉会

概要は以下のとおり

●事務局からの説明

議事1 昨年度頂いたご意見に基づく対応状況について

- ・昨年度の河川環境推進会議で頂いたご意見を事業に反映したものを報告

議事2 今年度実施した事業について

①普及啓発事業

- ・河川事業パネル展、川の学習パネル展、生物観察会、川めぐりウォーキングツアー等、今年度実施した情報発信・普及啓発事業の実績報告

②創成川環境整備事業

- ・今年度の活動状況報告、調査の結果報告

③トンネ川・ポントネ川環境整備事業

- ・事業概要、昨年度～今年度の取組内容、今後のスケジュール

④熊の沢川河川環境整備事業

- ・事業概要、環境整備計画決定までの経緯、環境整備計画について、今後のスケジュール

議事3 実施事業を踏まえた今後の環境整備の考え方について

- ・サクラ等の植樹による河川の景観性向上について

●委員からの主なご意見

議事2 今年度実施した事業について

- ・普及啓発事業について、高齢化が進む中、川めぐりウォーキングツアーや川めぐり講座のような人と共に活動し、学ぶことのできる機会は重要である。今後の展開として、案内ボランティアを育成し、開催の機会を増やすことも将来的には検討してみてもどうか。
- ・熊の沢環境整備事業について、この事業を地域のまちづくり全体のなかでどう捉えるかが課題である。10～20年後、維持管理が難しくなるかもしれないし、資産価値を高めていけば若い人たちが事業に参加するようになるかもしれない。
- ・植樹をする際、ワークショップ等での住民からの希望としてはサクラが多いようだが、「他にこんな樹種もある」という提案を行政側から行ってもよいのでは。

議事3 実施事業を踏まえた今後の環境整備の考え方について

- ・枠組みを固めすぎず、余裕を持つことも大事である。「市民が楽しめる」「市民とともに楽しむ」という視点も大切。
- ・景観植樹だけでなく、生物の多様性といった視点から考えてみてはどうだろうか。幅広く、様々な目線で考えることが大切である。

議事4 各委員より、第三期の振り返りと第四期に向けての提言

- ・会議に参加することで、行政が川に関する様々な取組を行っていることを知ることができた。
これからは地域だけでなく、札幌市・札幌市民全員に目を向けて事業を行い、「川と人との関わり」というものを大切にしてほしい。札幌市内ではまだ川の存在は市民にとって希薄なものであるので、「川」というものの存在感をより一層市民に伝えてほしい。
- ・小学生～高校生の子供たちに、「札幌には大小さまざまな川がたくさんあり、札幌の街は川からできた」ということを伝えてほしい。
- ・指針策定の頃から長い期間関わったが、最初の頃と比べて事業がかなり発展したように思う。
会議中での発言が事業にどのように取り入れられるのかを毎回楽しみにしていた。川や水は魅力的なものであるため、今後も活動を継続・発展させてほしい。
- ・事業の報告を受けて議論するだけでなく、「自分も一緒に何かしたい」という思いをもつようになった。第四期では、行った事業についての結果報告だけでなく、実施前のアナウンスも積極的にして、推進会議の委員も河川事業に巻き込んでほしい。
- ・第四期でも、会議での意見交換を受けての新たな視点からの業務の展開や推進を期待している。

●当日の様子

